

令和6年度 思いやりデイサービス 事業報告書

1. 令和 5 年度までの概況

富士市の委託による生きがいデイサービス・健康づくりデイサービスは、平成 30 年度から、要支援 2 の方を除き週 1 回の利用のみとなった。

しかし、週 2 回の利用を望む利用者が多く、その要望に応えるため、社会福祉法人としての社会貢献の観点から、鑑石園独自のサービスとしてこの事業を始めた。

平成 30 年度の 1 回あたり平均利用者数は 7.68 人であったが、利用者の高齢化により、逝去される方や要介護の認定が出てサービスを利用できなくなる方が増え、令和 5 年度には 1 回あたり平均利用者数 2.64 人となった。

2. 令和 6 年度の実施状況

健康づくりデイサービスは、富士市介護予防・日常生活支援総合事業の一環として実施されてきたが、令和 6 年度から事業が見直され、事業対象者の方は週 2 回の利用が可能となった。

そのため、思いやりデイサービスを利用する必要がなくなり、結果として令和 6 年度の思いやりデイサービスの利用者はゼロとなった。

生きがいデイサービスの利用者及び要支援 1 の方は思いやりデイサービスの利用が可能であるが、それらの対象者に声掛けしたが結果として利用には至らなかった。